

一般会計決算に対する討論

令和6年度一般会計決算は、9月定例会最終日に認定されました。この議決に先立ち、同決算に対する討論が行われ、2人の議員から賛成意見が、3人の議員から反対意見がありました。その概要は次のとおりです。

賛成

厳しい財政状況の中、市民目線に立った施策の実施を要望し、本決算に賛成する。

(志政あやせ)

●令和6年度は、ひとり親家庭を対象とした高等学校入学時の学用品購入費の給付や、通学定期券の購入補助などを実施したほか、公共施設再編計画に基づいた複合施設の建設事業を進めるなど、ソフト・ハードの両面で将来を見据えた事業に積極的に取り組んだものと評価する。歳出の款別に意見を述べる。民生費では、もみの木園の建て替え工事に着工したほか、幼稚園教諭雇用費用の一部補助事業を実施した。通園児の障がい特性に応じた療育支援体制の整備と、雇用環境の改善策を今後も継続するよう要望する。衛生費では、資源物収集所運用委託事業を開始し、地域の負担軽減として大変有効な手段と評価する。商工費では、新商品開発の伴走型支援を実施したが、引き続き市内消費の拡大やブランド力向上につながることを期待する。土木費では、令和7年5月にあやせローズガーデンが開園した。施設のさらなる発展を期待するとともに、周辺の交通環境の整備にも努めるよう要望する。教育費では、小・中学校体育館空調設備の整備を進め、熱中症対策や災害時避難所の質向上を図るとともに、小・中学校給食費の半額補助事業の継続を評価する。

●令和6年度決算は、市総合計画2030に掲げる基本方針に基づき、各事業ともスピード感を持って着実に実施したものと評価する。歳出に關し、3つの基本方針に基づき意見を述べる。「育てる」では、子どもの短期預かり事業の開始や産後ケア事業が拡充され、心身のケアが必要な保護者に対する、子どもの養育環境が整備されたことを評価する。不登校で悩む児童・生徒の支援では、市内全小・中学校へ不登校等支援員を配置した。今後も保護者や子どもたちの声に耳を傾け、継続した支援を行うよう要望する。「稼ぐ」では、ワークショッ

とともに、建設費の上昇を踏まえ財政負担の平準化を図るよう期待する。課題解決や成長に向け邁進することを要望し、本決算に賛成する。

(公明党)

反対

●令和6年度決算の財政状況は、県内でも極めて健全であるが、その財政余力を市民生活の支援に十分生かせていない。物価高騰や格差拡大とい

う社会情勢の中、地方自治体には積極的な財政出動が求められており、子育て世帯への経済的支援など、市民が日々の暮らしの中で求めている施策を充実するよう要望する。道の駅計画では、市民などに明確な説明がされないまま方針転換された。民主的な議会制の下に決定された当初予算を軽視するこの姿勢は、極めて問題である。これまで1億円以上の税金を投じながら、成果を残さず立ち消えとなり、事業を白紙にする理由と今後の方針を市民に示す説明責任を果たさないまま計画を放棄することは、許されることではない。決算審査の本質は、数字の健全性の確認だけでなく、市民生活の向上に資する市政運営であったかを問うことにもある。道の駅という言葉に期待した市民への十分な説明がないまま、政策方針を変更した市長の市政運営に対する姿勢に反対する。真の健全財政とは、市民の暮らしを支えるために財政を生かすことであり、単なる数字上の黒字や負債削減ではない。政策の停滞などによる税金の無駄遣いは市政への信頼を大

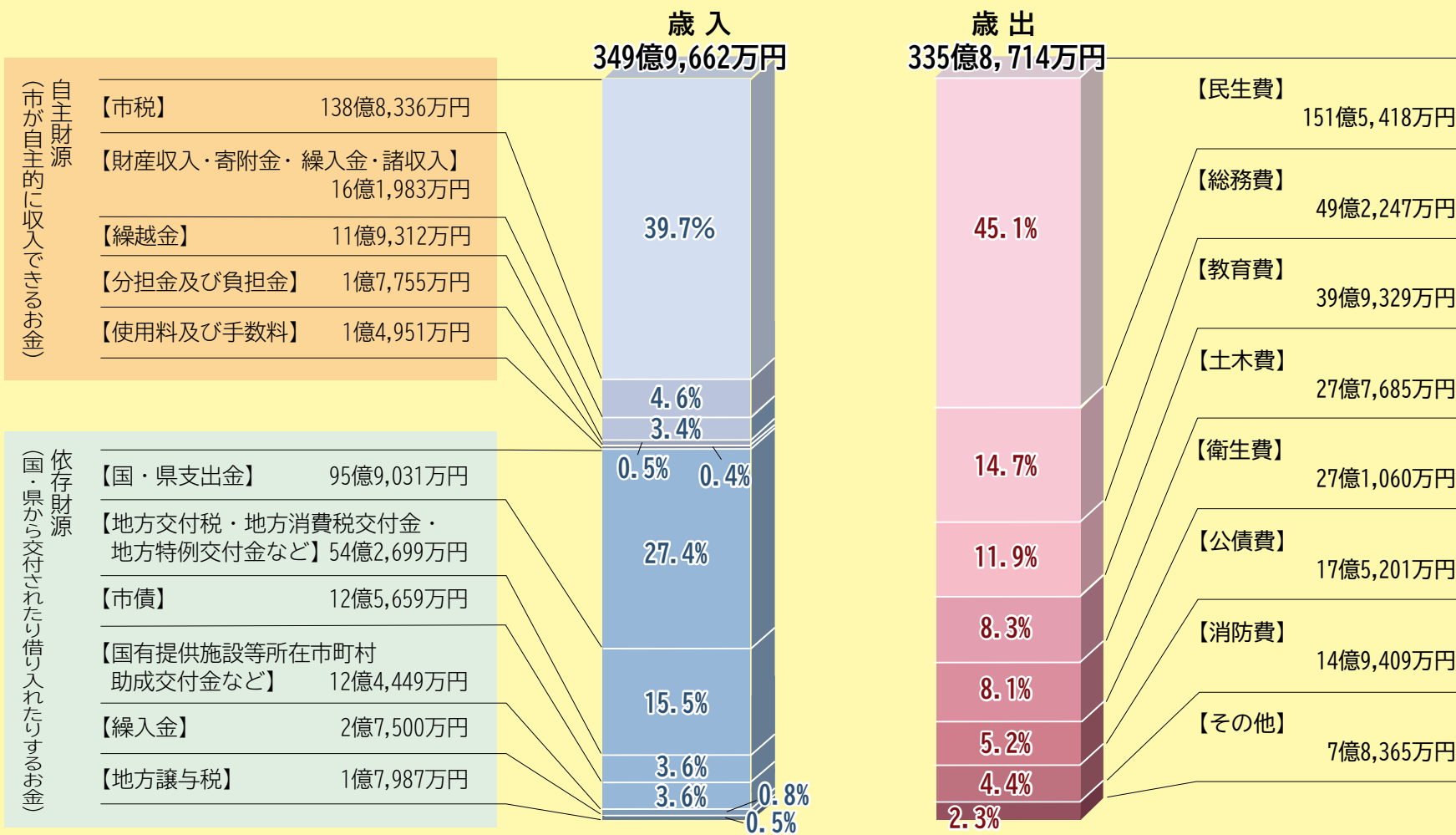
きく損なうものであると指摘し、本決算に反対する。

(あやせ未来会議)

●学校給食費は、半額補助制度が維持されたが、市長が公約に掲げた無償化を令和8年度から実施するよう求める。あやせローズガーデンは、今後も有料化せず、市民がいつでも憩える公園として管理、運営していくよう要望する。まちづくりは、サウンドイン

(日本共産党あやせ)

令和6年度決算状況(一般会計)



表中に記載の数値は、表示単位未満を四捨五入しています。金額、構成比などの数値は、個々の積み上げと合計額が一致しない場合があります。